



週報

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号
大阪駅前第3ビル 30階 (〒530-0001)
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
メール osaka-w@cronos.ocn.ne.jp
例会日 毎週月曜日 12時30分
例会場 ヒルトン大阪
会場電話 06-6347-7111

第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

会長 木越正司
幹事 林邦彦
会報委員長 丹生昭教

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
I 真実かどうか。II みんなに公平か。III 好意と友情を深めるか。IV みんなのためになるかどうか。

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

K.R. ラビンドラン

No 2311 2015年6月20日 第2774回例会

本日のお知らせ

- ◆ R. S. 「 限りなき道ロータリー 」
- ◆ 卓話 「 各委員会活動報告 」
職業奉仕委員長 西川 雅章 君
社会奉仕委員長 小川 哲男 君
MSU事務局長 山内 康俊 君

次例会のお知らせ

- ◆ R. S. 「 手に手つないで 」
- ◆ 卓話 「 一年を振り返って 」
会長 木越 正司 君

- ◆ MUS第6回会合開催
例会前11:30より、会員増強委員会MSU第6回会合をヒルトン大阪10階平安の間にて開催いたします。MSUリーダーの方はご出席下さい。

前例会の報告

- ◆ 前例会 (6月13日) の来客者 12名
うち国内来客者 4名
海外ゲスト 1名

国内ゲスト 7名

- ◆ 前例会 (6月13日) の出席状況
出席会員数 (内17名免除会員) 49名
欠席会員 35名
出席規定適用免除会員 27名
会員総数 94名
出席率 58.33%

- ◆ 5月23日の例会の出席率 (MUを含む) 80.25%

- ◆ ニコニコ箱 (6月13日分)
 - 記念例会のお祝い。
大阪リバーサイドRC 会長エレクト 藤井 武治 君
幹事 沖米田浩朗 君
 - 木越会員、林会員一年間お疲れ様でした。大きな成果をあげて頂き感謝申し上げます。
岡 豪敏 君
 - お蔭様でガバナー補佐として一応無事に過すことができました。59周年をお祝い申し上げます。
大富 國正 君
 - 2年間お世話になりました。大阪西RCの益々のご発展を祈念致します。
東 明彦 君
 - 7月、8月ビール同好会宜しくお願ひします。
林 忠男 君

ニコニコ箱 (6月13日分)

クラブ・ニュース

◆ ソウル国際大会のご報告

2016年5月28日から、ソウルで開かれました、2015-16年度の国際大会に参加して参りました。大阪西 RC からは、木越会長、清水会長エレクト、大富ガバナー補佐、上田国際奉仕委員長と私、会員5名と家族4名が参加しました。私の娘(1歳10カ月)もソウルに参りました。



28日は、ソウル到着後、会場の KINTEX に行つて登録手続きを済ませ、まずは会場の雰囲気を確認しました。その後、グ

ランドハイアットホテルで開催された大阪ナイトに参加しました。

29日は、渋滞を予想して、8時過ぎにホテルを出発しました。国際大会のために5万人がソウルに來訪しており、多くのバスとタクシーが KINTEX に集まっていた。

29日の午前は、国際大会開会式に参加しました。テコンドーの演武やラビンドラン RI 会長とポールハリスの対話、加盟各国の紹介など志向を凝らした開会式でした。

開会式後は、友愛の家で、各国の展示や販売のブースを楽しみ、交流を深めました。

その後は、サムゲ



タンの食事、世界遺産の昌徳宮(チャンドクン)、南大門市場、韓国焼肉の夕食と、韓国を満喫しました。

30日は、帰国組と世界遺産観光組に分かれ、観光組は31日に帰国しました。観光では行く先々で、ロータリアンに出会いました。世界観光組は東京葛飾中央 RC の方々と一緒でした。

私も国際大会は初めてでしたが、ホスピタリティが素晴らしく、ロータリーで世界各国のロータリアンとつながっていることを実感いたしました。次は、もっと世界大会を楽しめると思っていますので、また必ず

参加したいと思ひます。

ソウルでは、大富会員・清水会員の奥様をはじめ、皆様に、幼少の娘に良くしていただきまし



た。ありがとうございました。(幹事:林 邦彦)

◆ 国際大会(ソウル) 閉幕

ロータリー会長 母の思い出とポリオについて語る韓国で6月1日(水)に開催されたロータリー国際大会の最終日、K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長が、30歳でポリオに感染した自身の母親について、KINTEX 会議場(韓国、高陽市)を埋め尽くした聴衆に語りました。



「53年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったのでしょう。以来、私たちは何百万という人の命を救ってきました」とラビンドラン会長。

「今晚、母の息子として、そしてロータリーの会長として、皆さまの前に立ち、ロータリーが「ポリオのない世界」という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数カ月先かもしれないということを申し上げます」ロータリー史上最高となる43,000人の出席者を記録した今国際大会では、150カ国以上から人びとが集まりました。ラビンドラン会長は、会長として最後のスピーチで、ロータリアンであることの真の意味は何なのかを強調しました。

「この地球上には、皆さんの懸命な努力のおかげで、より良い人生を送れるようになった人が大勢います。その人たちが私たちの存在に気づいていなくても、私たちの名前さえ知らなくても、それは問題ではありません。大切なのは、皆さんの活動が人びとの人生に触れ、それによって人びとがより健康で幸せになったことです」

次年度に目を向ける

ジャーム会長エレクトは「ロータリー史上、最も進歩的な年度が始まろうとしている」と述べ、次のように続けました。「もっと若い世代、最近退職した人、現役の職業人にとってロータリーの活動がもっと魅力的となるよう、変化し、柔軟になることの必要性を、皆さんは訴えてきました。今年の規定審議会における画期的な立法案の採択は、その明確な意思表示です。(中略)クラブは、自分たちの理想とする姿を目指しながらも、その中核にロータリーの理念を持ち続ける機会を持つことができるように



になりました。このニュースに世界中のロータリアンが心を躍らせています。」

(My Rotary より)